

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【公開番号】特開2016-74541(P2016-74541A)

【公開日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-028

【出願番号】特願2015-181610(P2015-181610)

【国際特許分類】

B 6 5 H 37/04 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 37/04 D

G 0 3 G 15/00 5 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月14日(2018.9.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シートに対して所定の後処理を行う後処理手段と、

前記後処理手段を、画像形成装置から搬送されるシートに対して前記所定の後処理を行う第一の処理における第 1 処理位置、又は、手差し挿入されるシートに対して前記所定の後処理を行う第二の処理における第 2 処理位置に移動させる移動手段と、

前記第一の処理において次に前記所定の後処理が実行されるまでの第 1 時間が前記第 1 処理位置まで前記後処理手段の移動に要する第 2 時間よりも大きい場合、前記第 1 時間と第 2 時間との差分に応じた差分時間が経過した後に当該後処理手段の移動を開始するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする、

後処理装置。

【請求項 2】

前記所定の後処理を行うシート束 1 つあたりのシート枚数と画像形成装置から搬送されるシートの搬送間隔から決定される第 3 時間と、前記画像形成装置における画像形成の準備に要する第 4 時間と、当該画像形成装置における画質調整に要する第 5 時間とのうち、少なくとも 1 つを用いて前記第 1 時間を決定する決定ユニットを有することを特徴とする、

請求項 1 に記載の後処理装置。

【請求項 3】

前記後処理手段の位置を検知する検知手段を有し、

前記制御手段は、前記検知手段により検知された前記後処理手段の位置が前記第 1 処理位置でなく、且つ、前記第 1 時間が第 1 所要時間と第 2 所要時間との合計時間よりも大きい場合、前記第二の処理の実行を許可し、

前記第 1 所要時間は、前記検知手段により検知された前記後処理手段の位置から前記第 1 処理位置まで前記後処理手段が移動するのに要する時間であり、

前記第 2 所要時間は前記検知手段により検知された位置と前記第 2 処理位置との往復の移動に要する時間を含む前記第二の処理に要する時間であることを特徴とする、

請求項 1 又は 2 に記載の後処理装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記後処理手段が前記第 1 処理位置にあり、且つ、前記第 1 時間が前記第 2 所要時間よりも大きい場合、前記第二の処理の実行を許可することを特徴とする、請求項 3 に記載の後処理装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記検知手段により検知された前記後処理手段の位置が前記第 1 処理位置でなく、且つ、前記第 1 時間が第 1 所要時間と第 2 所要時間との合計時間よりも小さい場合、前記第二の処理の実行を禁止することを特徴とする、請求項 3 に記載の後処理装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記差分時間が 0 であり前記後処理手段が前記第 1 処理位置にあり、且つ、前記第 1 時間が前記第 2 所要時間よりも小さい場合、前記第二の処理の実行を禁止することを特徴とする、請求項 5 に記載の後処理装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記第一の処理が実行されていない場合には前記第二の処理の実行を許可することを特徴とする、請求項 1 乃至 6 いずれか一項に記載の後処理装置。

【請求項 8】

シートに画像を形成する画像形成装置と、シートに所定の後処理を行う後処理装置とを含む画像形成システムであって、
前記後処理装置は、
シートに対して所定の後処理を行う後処理手段と、
前記後処理手段を、画像形成装置から搬送されるシートに対して前記所定の後処理を行う第一の処理における第 1 処理位置、又は、手差し挿入されるシートに対して前記所定の後処理を行う第二の処理における第 2 処理位置に移動させる移動手段と、
前記第一の処理において次に前記所定の後処理が実行されるまでの第 1 時間が前記第 1 処理位置まで前記後処理手段の移動に要する第 2 時間よりも大きい場合、前記第 1 時間と前記第 2 時間との差分の時間が経過した後に当該後処理手段の移動を開始するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする、
画像形成システム。

【請求項 9】

複数枚のシートを重ねたシート束に対して綴じ処理を行うステイブラと、
前記ステイブラを、画像形成装置から搬送されるシートに対して綴じ処理を行うオンラインステイブル処理における第 1 処理位置、又は、手差し挿入されるシートに対して綴じ処理を行うマニュアルステイブル処理における第 2 処理位置に移動させる移動手段と、
前記オンラインステイブル処理において次に綴じ処理が実行されるまでの第 1 時間が、前記第 1 処理位置まで前記ステイブラの移動に要する第 2 時間よりも大きい場合、前記第 1 時間と第 2 時間との差分に応じた差分時間が経過した後に当該ステイブラの移動を開始するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする、
後処理装置。

【請求項 10】

前記綴じ処理を行うシート束 1 つあたりのシート枚数と画像形成装置から搬送されるシートの搬送間隔から決定される第 3 時間と、前記画像形成装置における画像形成の準備に要する第 4 時間と、当該画像形成装置における画質調整に要する第 5 時間とのうち、少なくとも 1 つを用いて前記第 1 時間を決定する決定ユニットを有することを特徴とする、請求項 9 に記載の後処理装置。

【請求項 11】

前記ステイブラの位置を検知する検知手段を有し、
前記制御手段は、前記検知手段により検知された前記ステイブラの位置が前記第 1 処理

位置でなく、且つ、前記第 1 時間が第 1 所要時間と第 2 所要時間との合計時間よりも大きい場合、前記マニュアルステイブル処理の実行を許可し、

前記第 1 所要時間は、前記検知手段により検知された前記ステイブラの位置から前記第 1 処理位置まで前記ステイブラが移動するのに要する時間であり、

前記第 2 所要時間は前記検知手段により検知された位置と前記第 2 処理位置との往復の移動に要する時間を含む前記マニュアルステイブル処理に要する時間であることを特徴とする、

請求項 9 又は 10 に記載の後処理装置。

【請求項 12】

前記制御手段は、前記ステイブラが前記第 1 処理位置にあり、且つ、前記第 1 時間が前記第 2 所要時間よりも大きい場合、前記マニュアルステイブル処理の実行を許可することを特徴とする、

請求項 11 に記載の後処理装置。

【請求項 13】

前記制御手段は、前記検知手段により検知された前記ステイブラの位置が前記第 1 処理位置でなく、且つ、前記第 1 時間が第 1 所要時間と第 2 所要時間との合計時間よりも小さい場合、前記マニュアルステイブル処理の実行を禁止することを特徴とする、

請求項 11 に記載の後処理装置。

【請求項 14】

前記制御手段は、前記差分時間が 0 であり前記ステイブラが前記第 1 処理位置にあり、且つ、前記第 1 時間が前記第 2 所要時間よりも小さい場合、前記マニュアルステイブル処理の実行を禁止することを特徴とする、

請求項 13 に記載の後処理装置。

【請求項 15】

前記制御手段は、前記オンラインステイブル処理が実行されていない場合には前記マニュアルステイブル処理の実行を許可することを特徴とする、

請求項 9 乃至 14 いずれか一項に記載の後処理装置。